

診療所だより

「麻疹が心配で来院しました」、
診断はデング熱です。

マニラ日本人会診療所 菊地 宏久

日本では、麻疹流行に関するニュースがこの数か月間飛び交っています。当地では麻疹に限らず風疹、水痘、結核などは年間を通して発生していますが、この数か月は日本での麻疹報道の影響で、麻疹やワクチン接種についての質問が多数ありました。

「発熱と発疹が出たら麻疹かも、受診を！」というニュース報道が患者さんの耳に残っているのでしょうか、「発熱と発疹」を主訴に来院した患者さんも目立ちました。

麻疹は風邪症状・発熱・発疹を伴う疾患で、人から人へ空気感染する極めて感染力の強い病気です。しかし、発熱・発疹を伴う病気は麻疹だけではありません。

当地では発熱・発疹を伴う病気で絶対に忘れてはならない疾患にデング熱があります。デング熱の発疹の形態や病状経過は麻疹とは異なりますので臨床的に鑑別は容易です。しかし風邪症状のある患者さんがデング熱を併発した場合には、臨床症状だけの鑑別が困難な場合もあります。

今回はそのような症例を経験しました。患者さんは麻疹だと思って来院しましたが、実はデング熱だったという症例です。日本では考えられないようなことが起こります。

その土地ごと、国ごとに疾患の流行状況や特徴を把握していることの重要性を改めて認識しました。皆さんお大事になさってください。